



「BYQ ネットワークの集い2007」を開催しました！

琵琶湖・淀川水系の水環境を改善するためには、市民や NPO など多様な主体が連携して取り組むことが求められています。そこで、今年は「水質」をキーワードに、BYQ（財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構）が取り組んでいる様々な活動を通じて知り合った人達が楽しく学び、交流できる「BYQ ネットワークの集い2007」を平成19年1月21日に、OMM ビル（大阪市中央区）で開催しました。また、午前中は同時開催として、毛馬閘門の仕組みなどを体験し、水上から大阪の町並みを見る「水上バスでゆく 大阪・大川周遊めぐり」を行い、120 名以上の方が参加されました。集いには、日頃 BY スタンプラリーに協賛して頂いている市民団体の方、あるいは WAQU²（わくわく）調査隊員として活動されている個人の方など200 名近くの方が参加され、水質浄化実験や水質調査の発表会、参加者による意見交換などを行い、大盛況のうちに終えることができました。

BYQ ネットワークの集い 2007 集い1

身近にできる水質浄化実験と水質調査についての学習会

*パックテスト…簡単な試薬を用いて水質を調べるキット

「集い1」の学習会には、30 名ほどの子どもたちを含む約 80 名が参加しました。BYQ の和田主任研究員から「水の汚れときれいになる仕組み」の講義を受けた後、ペットボトルを用いたろ過装置の工作にチャレンジしました。その後、パックテスト*の正しい使い方を学習し、工作した装置を用いて水質浄化を行いその効果を確認しました。



①自分で工作したろ過装置に汚れた水を流してどうなるか、ドキドキの作業です。ゆっくり流すのがポイント!!! 回通しただけで透明になるのでみんなびっくりしました。②しょうゆを入れたと水がどれくらい汚れるのか。においや色、水質（今回は COD、リン酸）について調べました。大人の方も無口になって作業に集中。③お話は子ども達には難しい言葉もありましたが、全員が真剣に聞いてくれました。気づいた疑問を BYQ のスタッフに質問して色々なことを学びました。④こぼさないように集中し、スポイトを用いて水質測定に必要な水の量をばかっています。次回はどんな水を測定するか楽しみに!!

BYQ ネットワークの集い 2007 集い2

水質調査の現状と地域における水質調査の発表会

「集い2」の発表会では、「水質調査データの見方」と題して、龍谷大学理工学部助教授の岸本直之氏にお話しいただきました。琵琶湖・淀川流域で日頃活動をされている4 団体による水質調査の発表会を開催し、その後、会場の約 120 名の参加者も交えて、水質に関する疑問などについて意見交換が行われました。



①②岸本先生のお話は、調査している水質項目（pH や COD、BOD など）とは何かというお話から、湖沼や河川での水質の変化とそれぞれの水質項目の関係についてわかりやすく説明していただきました。③発表会に参加していただいた団体（写真左から）猪名川・神崎川水質研究グループ、NPO 法人地域と自然、NPO 法人びわこ豊郷の郷、淀川水系の水質を調べる会④最後に、2 会場で分かれて行われた「集い1」と「集い2」の内容について全体発表を行いました。

BYQ ネットワークの集い 2007 基調講演

「指標生物を使った調査と生物からのメッセージ」と題して、社団法人 淡水生物研究所所長 森下郁子氏にご講演いただきました。



BYQ ネットワークの集い 2007 パネル発表

BY スタンプラリー協賛グループなど 23 の市民団体の方に、会場内に展示したポスターを使って、日頃の活動に関する報告や発表をしていただきました。



自分の住む町の近くで活動している団体だけではなく、琵琶湖・淀川流域のいろいろな場所で、さまざまな活動をしている人々がおられることを改めて感じました。

同時開催

『水上バスでゆく 大阪・大川周遊めぐり』

水上バスに乗って、大阪・大川を見学し、毛馬閘門を通過して淀川まで周遊しました。



参加者のご意見(アンケートより)

【学んだことは…】

- ・ろ過の仕組みが具体的に・体験的に理解できたこと
- ・貝など自然は自分の力で、浄化するサイクルが出来ているのに、人間がそのバランスをクズしてしまっているのでは…
- ・水質が良くなれば、それでよいのか?！ 目からウロコでした。
- ・水の大切さ
- ・いろんな活動が行われていること

【良かったことは…】

- ・水質の変化に感激しました。
- ・実験と疑問点がすぐ聞けたこと。
- ・頭で考えるより、実際に作ってよくわかった。
- ・子供がとても喜んで楽しそうであった。

- ・様々な地域の方と意見交換ができ、水環境についても貴重な情報が得られた。
- ・水上バスで、普段いけないところへ行って勉強になった「百聞は一見にしかず」

【がっかりしたことは…】

- ・はじまる時間が遅れること
- ・時間が長いこと
- ・人数が多すぎて、狭かったこと
- ・ビデオ発表など、後ろにいる人は見えにくい

その他たくさんのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見・ご要望は、次回の集い開催の際に参考にさせていただきます。(事務局)